

東部6地区合同 地域コミュニティワークショップ 概要

日時	平成27年7月12日(日) 19時30分～22時30分
場所	興東公民館東里分館
出席者数	東部6地区各種市民公益活動団体等 約30名

ワークショップの内容

1 開会

上田東部自治連合協議会長から挨拶があった。今回集まっていたのは、地域自治協議会設立に向けたワークショップをするためである。本来ならば1地区を選出して行うのだが、東部地域にある地区はどれも実情が似ていることから6地区合同で行うことになった。実のある会になるようにご協力をお願いする。

続いて、協働推進課から挨拶があった。今日の話し合いで、みんなの意見を聞きながらこの地域をどのようにしていくかを話し合っていきます。そして、協力してより地域づくりを目指していきたいと思っています。

続いて、ファシリテーターを務める(株)ひとまちの宝楽陸寛氏と「場とコトLAB」の中脇健児氏から、奈良市や地区の人口、高齢化率等の数字データを示された。その後、ワークショップの趣旨(将来像を定めるための会議であり、要望を聞く場、具体的な施策提案をする場でないこと)説明があった。

2 意見交換(抜粋)

地区ごとに分かれてグループを作り、地区の魅力・課題を洗い出した。また、出てきた課題についての解決策を話し合った。主な意見は以下のとおりである。

➤ 田原地区

(1) 地域開発のマスタープランについて

※発言は○=地域

○：田原地区は市街化調整区域に指定されているため、マスタープランを作成して新しく家を建てられるようにしたい。しかし、地域だけで作るのは難しいので、行政からサポートしていただきたい。

(2) 空き家に移住してくる人への金銭的な補助について

○：空き家に新たに住む人に、リフォーム代などの金銭的な補助をすることはできないか。

➤ 柳生地区

(1) 鹿の駆除について

○：鹿による田畑の被害が出ている。奈良公園以外のところにいる鹿の駆除に許可をもらえないか。

(2) 観光の拠点施設について

○：道の駅のような観光の拠点となるような施設を作ってもらえないか。

(3) 東部地域の観光PRについて

○：国内外に東部地域のPRをもっとしてもらえないか。

(4) コミュニティバスの導入について

○：コミュニティバスを導入することはできないか。地元のバス会社と協力してもらいたい。

➤ 大柳生地区

(1) 福祉車両の運用について

○：事務所をつくることはできないか。

○：現在、個人の車を使って福祉車両としているので、専用の福祉車両を用意することはできないか。また、地域のお金で運営費用を賄っているため、補助金を出してもらうことはできないか。

(2) コミュニティバスの導入について

○：診療所を巡回するバスを走らせることはできないか。

➤ 東里地区

(1) 東里地区の都市計画について

○：東里地区は市街化調整区域に指定されており、産業を始めることも家を建てることもできない。これを解除することはできないか。または、木津川のカインズホームまで続いている京奈和道を春日山の裏を回る道にすれば、東里地区の開発が進むのではないか。

○：東里地区には、産廃業者や中間処理業者が既にあるので、クリーンセンターを持ってこないでほしい。

➤ 月ヶ瀬地区

(1) 道路開発について

○：歩道と車道の区別をもっとわかりやすくし、道路の幅員を広くすることはできないか。

(2) 一次産業の振興について

○：一次産業が儲かっていないので、もっとPRすることはできないか。また、起業と地域をつなげるパイプ役になってもらうことはできないか。

(3) 行政の縦割りについて

○：行政の縦割りをなくし、部署間の連携をもっととってもらいたい。

(4) コミュニティバスの導入について

○：コミュニティバスを導入することはできないか。

3 まとめ

宝楽氏からまとめがあった。地域が得意としている事、つながればできそうなこと、行政に頑張ってもらいたいことを話し合えたということが大事な一歩である。今回の話し合いだけで終わるのではなく、今後も地域でコミュニケーションをとっていきことで新しい視点が見えてくる。地区自治連合会の枠をとって皆さんで考えて欲しい。

続いて、中脇氏からまとめがあった。今までいろんな地域の話し合いに参加してきたが、山間部の地域は閉鎖的だったり人見知りの人が多かった。しかし、奈良は関西の明るさと集落の一致団結感があることに驚いた。これがこの地域の魅力だと思う。この場で皆さんに挙げてもらった問題の中には、東部地域全体で共通している問題になっているものもあるので、各地区で取り組むのではなく、東部全体で取り組んでいくと問題の解決につながると思われる。こういった問題を解決するために大切なのが都市部とのパイプ。ここは奈良市ががんばらないといけない。自然が守られている地域と観光が発展していて住みやすい街が近いということを広め、東部のインフラ整備を進めると、奈良市全体が良くなると思う。まずは目の前の問題を解決するために東部で連携がとれれば、行政側も東部ブランドとして売っていきこうという流れになるだろう。

最後に、上田東部自治連合会長から挨拶があった。宝楽氏・中脇氏のおっしゃるように、東部全体で力を合わせてまちづくりをしていきたいと思う。

以上